

目標の進捗状況報告書

(2013年度・大学)

担当部局は ☆印の箇所を記入してください。

I. 評価項目・要素と担当部局

本シートでの自己点検・評価を行う部局と項目・要素は次のとおりである。

対象部局	商学部
大項目	6 教育内容・方法・成果
中項目	6.1 教育目標、学位授与方針、教育課程の編成・実施方針
小項目	6.1.1 教育目標に基づき学位授与方針を明示しているか。
要素	学士課程・修士課程・博士課程・専門職学位課程の教育目標の明示 教育目標と学位授与方針との整合性 修得すべき学習成果の明示
小項目	6.1.2 教育目標に基づき教育課程の編成・実施方針を明示しているか。
要素	教育目標・学位授与方針と整合性のある教育課程の編成・実施方針の明示 科目区分、必修・選択の別、単位数等の明示
小項目	6.1.3 教育目標、学位授与方針および教育課程の編成・実施方針が、大学構成員（教職員および学生等）に周知され、社会に公表されているか。
要素	周知方法と有効性 社会への公表方法
小項目	6.1.4 教育目標、学位授与方針および教育課程の編成・実施方針の適切性について定期的に検証を行っているか。
要素	

II. 目標の進捗状況評価と進捗状況報告(2013.4.30現在の進捗状況報告)

《進捗状況評価》

本項目において、2009年度～2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定し、毎年度進捗状況の自己評価を行っている。進捗状況評価はA、B、C、Dの4段階とし、2013年4月30日現在における目標の達成度評価(2013年度の達成に対してどこまで進んだかの評価)を行った。A、B、C、D評価は目安として次のようなものである。

- A : 目標実現のための計画や方策などを適切に実行し、目標を達成している。もしくはほぼ達成している。
- B : 目標実現のための計画や方策などを概ね適切に実行しているが、まだ目標は達成していない。
- C : 目標実現のための計画や方策などを実行しているが十分ではなく、目標は達成していない。達成にはまだしばらく時間がかかる。
- D : 目標実現のための計画や方策などを実行していない。当然目標は達成していない。

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗状況評価				
		2009	2010	2011	2012	2013
1. 教育目標を達成すべく、専門科目の2単位化、専門基礎教育の強化、演習科目の再構築、進級条件の設定、卒業要件の変更など、教育課程を見直す。	→教育課程に係わる規程等の改正	B	B	A	A	/
2. 寄附講座等、産業界との連携による実学的講座の拡充する。	→寄附講座の開講数、受講者数および授業評価結果、講演会・セミナーなどの開催数	B	B	A	A	/
3. 教育課程再編成の効果と問題点を継続的に評価し改善する。	→点検・評価活動に関する研究会の開催数および改善策の提言・実施状況、教員および学生による授業評価結果、GPA・平均点の状況	B	B	B	B	/

☆

2010年度以降に設定した「目標」	左記目標の「指標」	2009	2010	2011	2012	2013
	→	/	/	/	/	/
	→	/	/	/	/	/

《進捗状況》 ☆

目標の進捗状況について次のとおり簡単に説明する。

目標1	教育課程に係わる規程等を改正し施行した。
目標2	2012年度寄附講座の開講数は9回、受講者数は1,671名、講演会・セミナーなどの開催数は8回であった。2011年度の開講、受講者数(7回、1,151名)と比較し、活発であったが、講演会・セミナーは、2011年度の13回より減少している。
目標3	点検・評価活動に関する研究会として、2012年度には、FD教授研究会が2回開催された。FD委員会にて、FDの観点から活性化に向け検証を行った。GPA、平均点については、変化がみられない。
備考	